

特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 平成 18 年度事業報告書

目次

・ 運営に関する事項.....	3
1. 会員の現状.....	3
2. 通常総会の開催.....	3
3. 理事会の開催.....	3
1) 第 1 回理事会.....	3
4. 常務会の開催.....	3
5. 団体ホームページ運営.....	4
6. 会報誌「まちわくの元」の発行.....	4
7. 「まちわくメール news」の配信.....	4
8. 運営事務.....	5
9. その他.....	5
・ 事業に関する事項.....	6
1. まちづくりに関する調査研究.....	6
2. まちづくりに関する政策等の提案.....	6
3. まちづくりに関する情報収集と提供.....	6
1) 地域情報誌「み～きゆるきゆる」発行事業.....	6
2) 「おきなわ NPO 協働ネットワーク」「おきなわ NPO 月間 2007」へ参加.....	7
3) 「プロジェクト未来なは」への参加.....	7
4) 建設情報誌「しまたてい」への執筆.....	8
5) 「建築ジャーナル」への執筆.....	8
4. まちづくりに関する参加型の話し合いの場の企画・運営.....	8
6) なはまち連絡会結成 & にぎわい広場 1 周年記念シンポジウム.....	8
7) にぎわい広場（牧志第二公設市場跡地）の管理運営を考える場づくり.....	9
8) コミュニケーション屋台づくりプロジェクト.....	10
9) まちなかアカデミー「くもじの防犯まちづくり」.....	11
10) 第 4 次那覇市総合計画市民会議運営支援.....	11
5. まちづくりに関する建造物・印刷物等デザイン・レイアウト支援.....	12
11) 市民活動団体 WEB 作成支援事業.....	12
12) 市民活動団体印刷・レイアウト支援事業.....	13
6. コミュニティビジネスの開発・支援.....	13

7. まちづくりを担う市民団体等に対する支援.....	13
13) 派遣事業.....	13
14) ファシリテーター派遣事業	13
15) まちなかイベント事務局支援事業	14
16) 団体支援.....	15

. 運営に関する事項

1. 会員の現状（平成 18 年 3 月 31 日現在）

正会員 15 名 / 準会員 2 名 / 賛助会員 0 名 / 学生会員 1 名

2. 通常総会の開催

平成 18 年 6 月 25 日（日）にぎわい広場（第二牧志公設市場跡）にて「なはまち連絡会結成&にぎわい広場 1 周年記念シンポジウム / マチグワー x 子ども = 那覇のまちの未来 - 子どもが育つマチグワーになるには - 」と合わせて通常社員総会を開催した。

出席社員 8 名、委任状による出席社員 0 名、書面表決者 0 名、欠席社員 2 名。

3. 理事会の開催

1) 第 1 回理事会

平成 18 年度第 1 回理事会（決算理事会）については、平成 18 年 3 月 4 日に開催された平成 17 年度第 2 回理事会において、理事が「実際に集まっての理事会を開催するか、メール上での承認を行うかを平成 18 年 4 月の時点で常務会にて判断する」（議事録より抜粋）とされ、4 月の常務会にて、「メール上での承認を得る」ということが決まった。

そこで、各議題について、メールに添付された資料を各理事が確認・検討のうえ、議案ごとに電子メールにて書面表決を行った。

4. 常務会の開催

まちなか研究所わくわくの運営に関して週 1 回の開催を原則として常務会を開催した。

平成 18 年

第 58 回	4 月 1 日（土）	第 69 回	7 月 12 日（水）
第 59 回	4 月 12 日（水）	第 70 回	7 月 27 日（木）
第 60 回	4 月 19 日（水）	第 71 回	8 月 5 日（土）
第 61 回	4 月 26 日（水）	第 72 回	8 月 21 日（月）
第 62 回	5 月 10 日（水）	第 73 回	9 月 6 日（水）
第 63 回	5 月 17 日（水）	第 74 回	9 月 15 日（金）
第 64 回	5 月 31 日（水）	第 75 回	10 月 14 日（土）
第 65 回	6 月 14 日（水）	第 76 回	10 月 24 日（火）
第 66 回	6 月 21 日（水）	第 77 回	11 月 11 日（土）
第 67 回	6 月 29 日（木）	第 78 回	11 月 18 日（土）
第 68 回	7 月 5 日（水）	第 79 回	12 月 14 日（木）

平成 19 年	第 83 回	1 月 28 日 (日)	
第 80 回	1 月 4 日 (木)	第 84 回	3 月 3 日 (土)
第 81 回	1 月 11 日 (木)	第 85 回	3 月 17 日 (土)
第 82 回	1 月 19 日 (金)		

5. 団体ホームページ運営

担当スタッフ：山脇佳子

内 容：団体の活動を公開するツールとしてホームページを活用する

成 果：事業ごとの動きが分かりやすいように、事業報告をブログ形式に変更

課 題：各自事業の内容が、随時更新されるように工夫をする必要有り。

6. 会報誌「まちわくの元」の発行

担当スタッフ：小阪亘

概 要：(特活)まちなか研究所わくわくの各会員及び活動に興味を持っている人
たちに対し、当団体の事業、運営内容を会報誌にまとめ発信し、活動に理解と興味
を深めてもらい会員数増につなげることを目的とする。

事業費：印刷費 200 円 (マスター 50 円 / 枚 × 2 枚 × 2 回)

400 円 (インク代 50 円 / 100 枚 ・ 400 枚 (両面) × 2 回)

紙 代 560 円 (1470 円 / (1000 枚) × 400 枚)

合 計 1160 円

内 容：第 1 号 (6 月 10 日) 平成 17 年度の決算、事業報告 など

第 2 号 (1 月 30 日) み~きゆるきゆる第 4 号完成、

若狭、久茂地公民館まち MAP づくり など

成 果：情報としては限られてはいるが会員への情報発信ができた。

まちわくに興味がある人に対して、現在進行している事業についてま
とめて説明できる媒体ができた。

課 題：まちわくとして印刷媒体が増えており、他の印刷物との調整が必要

情報発信する内容について精査する必要がある

メルマガとの連携

今後の展開：次年度も季刊発行できるよう取り組んでいく。

7. 「まちわくメール news」の配信

担当スタッフ：宮道喜一

概 要：会員への情報提供の機会としてメールマガジン配信を開始した。まちわ
くホームページ事業報告ブログの内容とリンクさせる形で活動の様子な
ど画像情報も合わせて見れるよう工夫した。

Vol.1 2007 年 1 月 12 日配信

Vol.2 2007 年 3 月 6 日配信

- 対 象：会員（正会員 10 名・準会員 2 名・賛助会員 0 名・学生会員 1 名）
内 容：まちなかの活動の報告や関わりのある催し物情報、人材募集情報など。
成 果：課題であった会員への情報提供について、会員個人へ直接の情報提供が可能になったこと。また、HP の更新との連携を図ることで、無理なく継続していける体制ができた。
課 題：HP への情報更新がまだ十分ではなく、情報更新のための体制およびルールが必要である。

8. 運営事務

担当スタッフ：宮道喜一

概 要：特定非営利活動法人として活動していく上で、以下の事務を事務局が担った。

- ・登記（法務局）関連事務
- ・所轄庁（沖縄県）関連事務
- ・税務（税務署・県・市）
- ・会計
- ・会員
- ・総会
- ・理事会運営

会計については、2006 年 9 月まで山脇が担当し、9 月以降宮道が引き継いだ。

課 題：誰でも担えるようにルーティン化しきれておらず、事務運営ルールづくりが必要。

9. その他

4 月 30 日 【講義】古我知理事による戦略の立て方について

．事業に関する事項

1. まちづくりに関する調査研究

今年度、本事業は行わなかった。

2. まちづくりに関する政策等の提案

今年度、本事業は行わなかった。

3. まちづくりに関する情報収集と提供

1) 地域情報誌「み～きゆるきゆる」発行事業

担当スタッフ： 宮道喜一

概要： 昨年度の到達点及び課題を踏まえ、今年度は制作プログラムを確立することを旨しながら平成 18 年 4 月から 12 月にかけてむつみ橋（那覇市）を対象とし、第 4 号を作成した。また、昨年度まで一人体制であった事務局を二人体制となった。Vol.1（桜坂号）については増刷を行った。

第 4 号概要

- ・特集エリア： むつみ橋
- ・発行日： 平成 18 年 12 月 10 日
- ・印刷部数： 2000 部
- ・価格： 360 円
- ・作成期間： 平成 18 年 4 月～12 月（3 月：メンバー募集）

成果と課題：

	成果	課題
み～きゆるきゆるプログラム	・制作について第 2・4 日曜日をミーティングとして定期開催し、各回ごとにプログラムを組み進行することができた。 ・記事を書くことや取材することについて、事前に講座を実施することができた。	・終盤のレイアウト作業期間がのびてしまい、予定通り完成させることができなかった。
発行活動	・第 4 号の発行 ・第 4 号から新規のメンバーが 4 名参加。	・ -
地域でのみ～きゆるきゆる活用及びつながり	・ -	・地域でのみ～きゆるきゆるの活用 ・作成過程で集まるまちの情報の計画的な蓄積が行われていない
販売活動	・新規に「那覇市観光協会」で委託販売開始。	・販路の開拓と定期購読者の確保
組織体制	・事務局体制の強化（1 人から 2 人体制へ）	・まちわくと制作に携わる工房 396、事務局において、誰が何を決めるのか明確にする必要があ

		る。
活動の情報 発信	・ ブログの更新 ・ HP の更新	・ まちわく HP とブログの位置 づけの明確化 ・ 情報更新

2) 「おきなわ NPO 協働ネットワーク」「おきなわ NPO 月間 2007」へ参加

担当スタッフ： 佐々倉玲於

概要：

- ・「おきなわ NPO 月間 2006」終了後、月間でできたつながりを活かそうと「おきなわ NPO 協働ネットワーク」というネットワークができ定期的な集まりが持たれたそこに当団体も参加し各団体と情報交換を行った。
- ・「おきなわ NPO 月間 2007」が開催され当団体は、実行委員会へ参加し会議進行役を担った。さらに、参加団体となり、2/4 に開催されたボランティア NPO 出会い市へブース出展をし、み~きゆるきゆるの PR・販売を中心に行った。また、コミュニケーション屋台の企画が月間パンフレットに掲載された。

成果：

- ・他の NPO と出会い、情報交換できる関係をつくることができた
- ・“参加団体との連絡・やりとりの難しさ”“時間がない”“団体としての決定をその場で出せない”などネットワーク組織の会議進行・運営の仕方を学ぶことができた。

課題：

- ・まちわくメンバーが支援機関スタッフでもあるため、出会い市など団体として動く必要が出てきたときに人手が足りない。

3) 「プロジェクト未来なは」への参加

担当スタッフ： 佐々倉玲於

概要： 那覇市内で活動する若者の団体のネットワークである「プロジェクト未来なは」に参加しており、定期的に行われる会議に参加したり、実施されたプロジェクトに参加した。

成果：

- ・プロジェクトを実施しようとする若者に対してアドバイスをすることができた
- ・那覇市内で活動する若者同士のつながりができている

課題：

- ・今年度は積極的に関わることができなかった
- ・「プロジェクト未来なは」自体の運営がまずく、関わるメンバーに負担がかかる組織となっている。この状況を変えることで、若者に与えられているチャンス・資金を地域のために効果的に還元できると思われる。

- 4) 建設情報誌「しまたてい」への執筆
担当スタッフ： 小阪 亘 佐々倉 玲 於
掲載号：No.38 (2006 年 7 月号)
タイトル：沖縄県内のファシリテーター増殖に向けた人材育成プロジェクト
概要：沖縄建設弘済会の助成金を活用したファシリテーター増殖プロジェクトの報告
- 5) 「建築ジャーナル」への執筆
担当スタッフ： 小阪 亘
掲載号：No. 1120 (2007 年 4 月号)
タイトル：沖縄のまちづくりを、NPO の視点で発信
第 1 回目「国際通りトランジットモール」
全部で 3 回
概要：2 月 11 日から開催している国際通りトランジットモールについて紹介

4. まちづくりに関する参加型の話し合いの場の企画・運営

- 6) なはまち連絡会結成 & にぎわい広場 1 周年記念シンポジウム
マチグワー×子ども = 那覇のまちの未来 - 子どもが育つマチグワーになるには -
担当スタッフ： 佐々倉 玲 於
日 時： 2006 年 6 月 25 日 (日) 14:00 ~ 17:00
6 月 24 日 ~ 6 月 30 日 写真展を同時開催
場 所： にぎわい広場
対 象： 那覇市中心商店街周辺へ在住・在勤・在学の市民、子どもの教育に関わる学校教員・教育委員会職員、その他関心のある市民
助成金： フィリップモリスジャパン 市民活動～住民活動助成 (2005 年立上げ助成) ¥980,000-
参加人数：約 50 名
内 容：
・なはまち連絡会結成とにぎわい広場 1 周年を記念して開催したシンポジウムであり、課題の一つとして見えてきた「子ども」をテーマに、子どもが育つマチグワーになるために、那覇のまちに暮らす(働く、学ぶ、住む)人々・関係機関が連携し、今できることを考え、取り組んでいくきっかけとなることを目的に開催した。また、同時開催として、子どもに伝えたい昔のマチグワー写真展を開催した。
講 師： 櫻井常矢 氏(高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 助教授)
パネラー：
栗国 智光 氏 (なはまち連絡会 幹事長, 第一牧志公設市場組合 副組合長)
野原 巴 氏 (那覇市商工振興課なはの街活性化室 室長)

仲根 藤江 氏 (久茂地小 PTA)

重信 知雅子 氏 (那覇市教育委員会 学校教育課 指導主事)

久場 由紀子 氏 (沖縄子育て情報ういず 代表)

成 果 : ・なはまち連絡会や本会の中間的な組織の役割・必要性を再確認するよ
い機会となった。

・子ども関連での人のつながりができた

課 題 : ・6 月末の強い日差しの中での野外イベントは集客及び実施についても難
しい。

・勉強会的なイベントにまちの人たちを呼ぶのはなかなか難しい

7) にぎわい広場 (牧志第二公設市場跡地) の管理運営を考える場づくり

担当スタッフ : 佐々倉 玲於

目 的 :

- ・にぎわい広場の管理運営を考えていくことをきっかけに、人とまち、人と人、組
織と組織のつながり・関わりを取り戻す。
- ・那覇市中心商店街商店主、周辺地域に暮らす人々が、まちの将来について、主体
的に考え、まちの課題を共有し、課題解決に向けて取り組んでいくきっかけをつ
くる
- ・那覇市中心商店街商店主、周辺地域に暮らす人々が、主体的に、かつ、持続可能
な形で、課題解決に取り組んでいける仕組みをつくっていくことを支援する
- ・事業展開柱として、「子ども」「にぎわい広場」「つながり」「コーディネーター」
を挙げている。

概 要 :

- ・昨年度の取り組みによって生れた「なはまち連絡会」の集まりを定期的にもち、
話し合いの場をファシリテートする。
- ・「まちなか現在」という情報誌を発行し、地域の人と人、組織と組織のつながりを
再構築する
- ・子どもがまちに愛着を持つ仕組みをつくる
- ・にぎわい広場がつながりの拠点となるように取り組む

事業期間 : 2005 年 5 月から

助成金 : フィリップモリスジャパン 市民活動 ~ 住民活動助成 (2005 年立上げ助
成) 98 万円 + 2006 年展開助成も獲得 (350 万円)

孫の代まで 100 年計画 なは・まちのこしプロジェクト

助成期間 : 立ち上げ助成 2005 年 10 月 ~ 2006 年 6 月まで

展開助成 2006 年 10 月 ~ 2008 年 9 月まで

まちわくの果たした役割 :

- ・まちの、ファシリテーターとして、事務局として、シンクタンクとして、役割を果たしている
 - ・まちの人たちが、主体的に動いていけるきっかけを与えている
- 成 果：
- ・なはまち連絡会での取り組みが行われ、「子どもの職場体験」「防災への取り組み」「にぎわい広場での取り組み」「まちなか現在の発行」など柱が見えてきている
- 子どもの職場体験：2006 年 7 月寄宮中、2007 年 2 月松島中の 5 日間の受け入れのコーディネートを行った
- 広場での取り組み： 7 月 29 日・30 日、8 月 12 日・19 日・26 日「にぎわい広場夏休みイベント」実施
- 防災への取り組み： 11 月 16 日(木)15 時～17 時 まちなか防災訓練実施をサポート(主催は那覇市中心商店街連合会)
- 12 月 11 日(月)20 時～22 時 なはまち勉強会を開催(11 年たった阪神淡路大震災・被災地域から学ぶ 災害にも強いまち・ひととは)
- まちなか現在発行： 10 号～18 号を発行。17 号よりリニューアル準備号として発行を再スタート。

課 題：

- ・なはまち連絡会の動きがスタートしているが組織体制がしっかりしているわけではないので、組織体制を整理する必要がある
- ・なはまち連絡会が自立して行くべく事業の柱が見えているが、自立の意思はまだないのでそこへの主体性をどのようにつくっていくか考えて行く必要がある

8) コミュニケーション屋台づくりプロジェクト

担当スタッフ：佐々倉 玲於

目 的：

那覇のマチグワー(中心商店街)に「地元客向けの店が減っている」「子どもが楽しめる店がなくなっている」という問題意識の下で、この問題にどう取り組んでいけるのか可能性を探る実験的プロジェクト。

実験として、今は少なくなっている相対売りのお店をモデルに、「人とのコミュニケーションが生れるような新しいスタイルのお店」をコンセプトに「屋台」をつくり、来年 2 月 11 日からスタートする歩行者天国となった国際通りへ出店する。

概 要：

まちなか探検クイズラリー・地域情報誌「み～きゆるきゆる」販売・ヒラヤーチーづくり体験・屋台側面へのお絵描き(テーマ：那覇のまちに欲しいお店) を実施。これらの活動を通して、コミュニケーションしながら今と昔の情報を提供し、未来のまちを語り合う。また、来客者に対してアンケート調査を行い、商店街にどんな

お店が求められているか声を拾う。

事業期間：2006 年 11 月～2007 年 2 月

寄付金：株式会社都市科学政策研究所より 20 万

成 果：

- ・現在のまちの用途として、「買う」だけでなく「楽しむ」「遊ぶ」という用途が求められていることが見えてきた
- ・子どもは、自分自身が主体になり、参加し楽しめる遊びを求めている、親は親子で楽しめる機会を求めていることが見えてきた
- ・屋台プロジェクトを見た国際通り沿いのビルのオーナーから「子どもの遊び場がつかれないか」という相談があり次のプロジェクトへの提案につながりそう。

課 題：

- ・屋台プロジェクトの次の展開を考えずに実施したため、屋台プロジェクトで使用した機材等が事務所に放置されている

9) まちなかアカデミー「くもじの防犯まちづくり」

担当スタッフ：宮道喜一

内 容：

防犯パトロールを行っている方々や PTA の方々への防犯まちづくりについてのレクチャーと久茂地地域の危険箇所（子どもが危険にあっている場所、何も起きていなくても、危険な要素を持っている場所）を確認しながらのまちあるきを実施。

日 時： 2006 年 8 月 27 日（日）

集合場所：久茂地公民館

講 師：小野尋子先生（琉球大学）

進 行：宮道喜一

主 催：くもじ地域連絡会

成 果：

- ・昨年に引き続きの実施ということで、防犯まちづくりについての理論をより多くの人に伝えることができた。
- ・防犯パトロールを行っている方々が想定してないところで事故が起きていたということを実際に確認しながら伝えることができた。

課 題：

- ・実施後の地域の動きの追跡ができていない。

10) 第 4 次那覇市総合計画市民会議運営支援

派遣スタッフ：宮道喜一

内 容：

第 4 次那覇市総合計画策定において公募された市民会議の運営支援を受託コンサ

ルタントの下で行った。6 分科会のうち二つの分科会を担当し、話し合いの場の進行補助等を行った。

受託料：¥726,500- (~ 2007 年 2 月作業分) 3 月作業分概算：¥51,000-

期 間：2006 年 6 月 ~ 2007 年 3 月

依頼者：株式会社沖縄総研

成 果：

- ・総合計画という 10 年に一度の貴重かつ重要な行政計画への市民参加の場の支援ができたこと。
- ・市民参加の場づくりのノウハウをまちなか研究所わくわくが持っていることを那覇市行政及び市民会議参加メンバーへ知ってもらえたこと。
- ・今後、コンサルタントとともに仕事をする上での実績となった。

課 題：

- ・今回は計画策定のプロセスなど策定に関する全体設計が決まっており、事務局を担うコンサルタントも決まっている中で、業務依頼が来た。そのため、既に決められた条件に矛盾や無理があるとわかっていながら、その枠組みの中でしか動けなかった。
- ・コンサルタントからの依頼という形になると最初の発注者である行政へも発言がしにくくなるなど、対等な関係では仕事ができない。市民参加に関する部分は行政から直接受けるなど働きかけが必要。コンサルタントとまちわくの役割分担を明確にしておくことも必要。

5. まちづくりに関する建造物・印刷物等デザイン・レイアウト支援

11) 市民活動団体 WEB 作成支援事業

NPO 法人風のうた・子育て支援ネットワーク HP

担当スタッフ： 山脇佳子

依頼主：NPO 法人風のうた・子育て支援ネットワーク

事業概要：昨年度に引き続き、活動などを紹介するホームページの管理運営

<http://www.kazenouta.net>

成 果：団体の想いを発信し続けるツールとして継続更新。

課 題：更新作業を手軽に行えるプログラムの導入することによって、更新頻度を増やす。

NPO 法人おきなわ CAP ホームページ作成

担当スタッフ： 山脇佳子

依頼主：NPO 法人おきなわ CAP センター

事業概要：新規ホームページ作成 & 更新作業レクチャー

<http://www.okinawa-cap.com/>

成 果：団体の紹介ができ、活動の報告が簡単にできるようになった。
またスタッフ専用ページの設置により、事業に必要なデータをのやり取りできるツールとしても活用。

課 題： アフターフォローを行うこと。

12) 市民活動団体印刷・レイアウト支援事業

今年度、本事業は行わなかった。

6. コミュニティビジネスの開発・支援

今年度、本事業は行わなかった。

7. まちづくりを担う市民団体等に対する支援

13) 派遣事業

那覇市中心市街地活性化シンポジウム

派遣スタッフ： 佐々倉玲於

テーマ：みんなで暮らしやすい“まちなか”づくりを実現しよう

主 催：内閣府沖縄総合事務局経済産業部中小企業課

講師料：¥10,000-

派遣内容： パネリスト

日 時： 平成 19 年 2 月 14 日（水）13:00～16:00

会 場： 那覇市ぶんかテンプス館テンプスホール

14) ファシリテーター派遣事業

平成 18 年度 8 月度那覇市社会教育指導員連絡協議会定例会

派遣スタッフ：佐々倉 玲於

テーマ：ファシリテーター基礎講座

講師料：¥6,000-

日 時：2006 年 8 月 15 日(火) 14:15～16:15

場 所：首里公民館

参加人数：約 10 名

主 催：那覇市社会教育指導員連絡協議会

花壇づくりプロジェクト・ワークショップ

派遣スタッフ：佐々倉 玲於

テーマ：花壇プロジェクトが立ち上がるきっかけとをつくる

講師料：¥20,000-

日 時：2006 年 7 月 9 日(金) 14:00～17:00

場 所：仲井真中学校
参加人数：約 20 名
主 催：国場川こいのぼり祭り実行委員会

若狭・久茂地公民館連携市民講座（全 8 回）
派遣スタッフ：宮道喜一
テーマ：「日常生活が 100 倍楽しくなる！まち MAP づくり」
講師料：¥72,000-
日 時：第 1 回 2006 年 9 月 30 日(土)～第 7 回 11 月 25 日(土)
第 8 回 2007 年 2 月 15 日(木)
場 所：若狭公民館、久茂地公民館
参加人数：約 10 名
主 催：若狭公民館、久茂地公民館

沖縄県社会福祉協議会内相談機関連絡会議
ファシリテーショングラフィック・ライター派遣
派遣スタッフ：宮道喜一
テーマ：県社協での相談業務の横の連携の仕方について
講師料：¥6,000-
日 時：2006 年 6 月 2 日（金）14:00～16:00
場 所：沖縄県社会福祉協議会会議室
参加人数：8 名
依頼者：沖縄県社会福祉協議会運営適正化委員会

15) まちなかイベント事務局支援事業

前島三丁目祭り
派遣スタッフ：佐々倉 玲於
謝 金：¥0-
日 時：2006 年 7 月～10 月
場 所：前島 3 丁目自治会事務所
参加人数：約 20 名
主 催：前島 3 丁目自治会

壺屋やちむん通り祭り 2007
派遣スタッフ：佐々倉 玲於
謝 金：¥50,000-

日 時：2006 年 9 月～11 月
場 所：壺屋やちむん通り
参加人数：約 20 名
主 催：壺屋やちむん通り会

16) 団体支援

松川字誌作成支援事業

派遣スタッフ：宮道喜一

派遣内容：字誌作成に関わる録音テープの起こし等

主 催：松川向上会

派遣料：¥45,000-

日 時：平成 18 年 4 月～12 月